

# 2学年通信

## Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

2学年 第13号 通算77号

2016.5.20 (金) 発行

置賜地区総体を終えて vol. 1

文責 横山

地区総体が終了して少しホッとしています。高校の運動部の顧問は、入学式からG.W.後の大会までの期間は、本当に気の抜けない1カ月なのです。それは「3年生の最後の大会にさせられない！」という思いがあるからです。サッカーは置賜地区10校中「上位4チーム」にしか県大会の出場権は与えられません。バレーやホッケーのように、全チーム出場できる競技もありますがそれは少数で、多くの競技は地区予選を突破しないと「高校の部活動生活」にピリオドを打つことになるのです。ですから先日、友人であるN高校のサッカー部の監督にお会いしたとき「3年生を引退させてしまった…」と寂しそうに語っておられた様子が印象的でした。おそらく、この地区で半数位の3年生が最後の大会になったのです。幸いにも今年の米興は、「全ての団体競技が県大会出場！」という素晴らしい成果をあげました。ここ数年続いている快挙ではありますが、それは決して「簡単なこと」ではないのです。それは3年生の先輩達が、また歴代の先輩達が成し遂げてきた「汗と涙の結晶」なのです。また、本校の体育文化後援会やOB・OG会から多くの援助を頂いていることや、保護者の皆様のご協力やご支援の賜物であることを忘れてはいけません。諺【驕る平氏は久しからず】を十分に噛み締めることです。

上記の驕る…は「勢いのあるときほど慎まなければならない」という戒めです。今どきの言葉では「チョーシこくな！」ですかね。このことは、10代の生徒諸君にはあまり経験の無いことかもしれません。が、50代の私の人生は、恥ずかしい話ですが「驕って失敗ばかりの歴史」なのです。思えば、自身が大きな過ちを犯したり、他者を傷つけるような言動をしたとき、それは多くが「慎みの無い精神状況のとき」でした。自分の失敗は自己責任ですが、自分の気持ちだけで他者を巻きこむことはいけません。たとえば、県大会出場を勝ち得た諸君は「俺は強い！」と天狗になっていませんか。また、水曜日は午前中で学校が終わったので「フリーだぜ！」と調子に乗って並進走行していませんか。また、米興生であることを「俺は頭がイイ！」なんて鼻にかけている人はいませんか。プライドを持つこと、持てるような行動をしたことは貴重です。米興生として、高校生として、また「地球市民」としてのプライドは大いに持って下さい。しかし、いつも心の片隅には「驕っちゃアカン」「調子乗っちゃダメ」という戒めも必ず持つておいて下さい。この文章は生徒諸君に何かあったから書いているものではありません。実は私、地区総体を終えた休日、山形県の誇るパワースポットである「山寺」を訪れたのです。その山寺で強烈な衝撃を受けたからなのです。 続 かな？



当面の日程をお知らせします。

### 5月20日（金）

本日は19：30まで大多で学習することができます。定期考査前はHR教室や小多・中多も可としていますが、放課後や休日は「大多で学ぶ」が基本です。それは、物理的には電気などの「省エネ」のためであり、精神は「本気で学ぶ3年生の後姿に学ぶ」ことです。大多は息が詰まるとか、緊張するとか言う人もいますが、「限りなく受験本番に近い場所」が大多であり、そのような場所が学舎にあることに感謝すべきだと、私は思います。なお本日は、保護者役員の皆様と懇談会がありますので、2学年の先生は18時に退校します。最終の戸締りを3年生の先生方をお願いしていますので、誠実な学びをすること・時間を厳守することはもちろんですが、帰る際の戸締り・消灯は全員が心がけて下さい。

### 5月21日（土）、22日（日）

学校で学習したいという生徒のため、1～3学年の先生方で分担して学校を開けることにしました。ただし「学習することのできる生徒」は、右記の「学びの心」に賛同できること、かつ「休日に登校し学習したい生徒へ」を誠実に実践できることを条件とします。なお、個人的には休日は「家庭で学習することができる」が原則だと思います。けれど、誰しもが弱い心を持っているので「家では甘えてしまう」とか「友人が頑張るのを励みにしたい」という人のための開放です。また「先生に質問できるから」と考える人もいるかもしれませんがその教科の先生がいらっしゃるとは限りませんし、おられる先生もテスト作成などのお仕事をされるはずで、よって休日の登校学習は基本的に自学です。幸運にもお目当ての先生が職員室に居られたら、「お時間よろしいですか？」とお伺いして可能であれば質問して下さい。また具体的な行動として、次の3点は守って下さい。

#### ① 2年談話コーナーの名票に「登校・帰宅時間を記入する」こと。

これは登校した学習者に対して、出勤された先生方が責任を持たなくてはいけないからです。また「まだ帰っていないのですが…」というお電話を保護者から頂くからです。

#### ② 平日の時間割通りの休み時間、昼食時間を守る。

休日だから自分のペースでいい、何てことは一切ありません。定期考査時は約200名の生徒が登校します。各々が勝手に気ままにするとどうなるか、は想像の通りですね。

#### ③ 教室を廻られる先生方に挨拶すること。また、その指導には素直に従うこと。

学年外の普段接することの少ない先生とお会いするはずで、誰や？のような態度は大変失礼です。2年生諸君には蛇足と思いますが、感謝の意を態度で示して下さい。

いろいろ話しましたが、2年生の最初であること、また3年生となる来年度は土曜講習や模擬試験が毎週末にあるからです。明日・明後日に登校して学習するか否かに関わらず、今回の学年通信に記してあることは、全員が熟読し理解し、実践して下さい。それは、結果として諸君の「夢実現のため」であり、同級生のみならず上下級生のためでもあるからです。

# 学びの心

ひとり静かに真摯に学問と  
向き合うことを学びという

米沢興讓館高等学校

- ×友人と語りながらの学びは「遊び」である。
- ×音楽を聴きながらの学びは「遊び」である。
- ×飲食しながらの学びは「遊び」である。
- ×書きたくないが「携帯禁止」である。

興讓館は学びを第一とした「学舎」です。特に年5回の定期考査はとても大切な学びの機会です。平日の放課後や休日に「学舎」で学習したいならば、上記のルールを最低限厳守する。ルールを守らない者や、他者に迷惑をかける者は学舎を去りなさい。真剣に学ぶ仲間や先輩のことを思い図れない自分本意な行動は、興讓生という以前に「人としての大きな問題」です。自分の学びが正しいか否か。もう一度、昨日の自分を振り返ってみる。豊かな土壌には豊穡の実りがある。